令和８年 10 月 28 日発行

積 寒 協 ニ ュ ー ス

令和８年 10 月９日、花角会長が自由民主党、総務省に対し、補正予算に依存した財政運営からの脱却に伴う社会資本整備予算等の安定的な確保に関する要望活動を行いました。

去る 10 月９日（金）に、会長である花角新潟県知事が自由民主党、総務省に対して、補正予算に依存した財政運営からの脱却に伴う社会資本整備予算等の安定的な確保に関する要望活動を行いました。

各要望先で御対応いただいた方は次のとおりです。

○自由民主党 幹事長 鈴木 俊一 氏
○総務省 総務副大臣 鈴木 英敬 氏

（自由民主党　鈴木幹事長へ要望書を手交）

（総務省　鈴木総務副大臣へ要望書を手交）

会長から、①社会資本整備予算の総額確保と地方財政措置への配慮、②防災・減災及び国土強靭化の継続的かつ計画的な推進、③発注時期の平準化と地域の建設産業の持続性の確保について強く要望しました。

鈴木幹事長からは、「当初予算へ移ったときに、どのような影響が出てくるのか、地方財政措置のほか、発注時期に空白ができないようにしなければならないということは課題として認識している。」との御発言がありました。

鈴木総務副大臣からは、「積雪寒冷地域の課題についても、これまで様々な検討を進めてきた。要望内容については十分理解した。財務省や国土交通省と協議しながら今後しっかり検討していきたい。」との御発言がありました。

今後もあらゆる機会を通じて、要望実現に向けた働きかけを行ってまいりますので、皆様におかれましても引き続き御協力お願いいたします。

【事務局より御礼】
会員各位におかれましては、短期間における照会に御協力いただき、誠に感謝申し上げます。
今回のような要望活動をはじめ、積雪寒冷地帯において住民が安全・安心に暮らせる地域づくりに向けて取り組んでいくことは、本会の重要な役割と考えております。